

河内長野支部紹介

河内長野市は、大阪府の東南部に位置し、奈良・和歌山両県と接しており、昭和29年に市制施行されました。市域面積は109.63 km²、このうち、70%が山間部となっています。そして市内を南北に高野街道が走っています。

昭和40年代からの開発により、人口が急増し平成12年には12万3,000人を超えるまでになりましたが、その後の人口減少により、現在は10万5,000人と減少してきています。歴史的には、旧石器時代まで遡りますが、特に観心寺や金剛寺をはじめとする中世の貴重な文化財が多く遺されていることから、令和元年5月20日、文化庁から「中世に出逢えるまち～千年にわたり護られてきた中世文化遺産の宝庫～」として日本遺産に認定されました。



先輩諸氏のご尽力により昭和46年に発足した河内長野支部ですが、本年5月現在、会員は190名です。活動の主なものとしては、年1回の総会、そして、歩こう会、ゴルフ部会、カラオケ部会、グラウンドゴルフ部会、女性部会、旅行部会の6部会が仲良くそれぞれの活動を行っています。また、河内ブロックで開催するカラオケ大会・グラウンドゴルフ大会・歩こう会にも多くの会員が元気に参加し、健康長寿を目指して社会参加を楽しんでいます。

特に、市長を迎えて年1回開催する総会後の懇親会では、出席会員それぞれに年齢の差はあるものの、実に和気あいあいとして、互いの近況や世間話そして昔話に花が咲き、さながら同窓会のような感じです。また当日出席できない会員のことについても、総会出欠時の返信にいただいた近況報告集も併せてご覧いただけるようにしています。

今後に向けて、支部会員のより一層の健康と幸せにつながるような展開を目指していきたいと考えています。

